

# 橋 梁 点 検

## 概 要

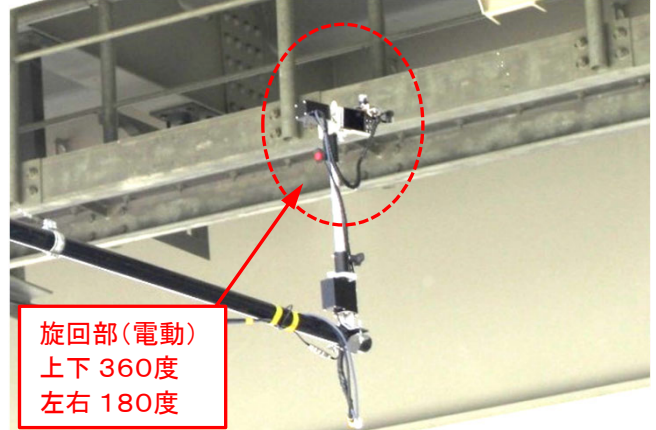
橋梁の現況を把握、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害を防止することを目的とし適切で効率的な維持管理を実施する為の情報採取・基礎資料の提供を行います。

## ・橋梁点検カメラ撮影

対象橋梁の道路幅員が狭く橋梁点検車の使用が困難な場合等、効果的な点検方法です。使用デジタルカメラの画素数は1200万画素と鮮明であり、正確な損傷状況の把握が可能です。

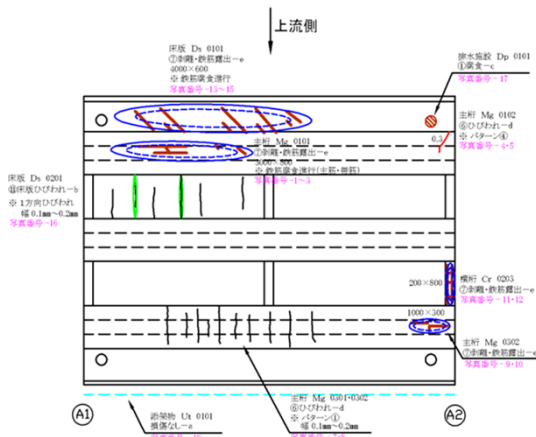


【 橋梁点検カメラ使用状況 】



## ・損傷図作成

国土交通省 橋梁定期点検要領(案)に準じて作成を行います。



【 上部工損傷図 】



【 橋梁点検車使用による点検業務 】

## 東洋検査工業株式会社

### 本 社

〒640-8306 和歌山市出島31-5  
TEL 073-471-1311  
FAX 073-474-6211  
URL <https://www.toyo-kensa.co.jp/>

### 大阪支店 大阪営業所

非破壊関連 TEL 072-245-0825  
インフラ関連 TEL 072-245-5013  
和歌山営業所 TEL 073-476-1711  
鹿島営業所 TEL 0299-92-7481  
技術ソリューション部 TEL 073-476-1211  
インフラ技術センター TEL 073-471-1811

# 橋 梁 点 検 (詳細点検)

## 概 要

目視点検では把握が困難となる鋼材の亀裂や、コンクリートの内部状況を非破壊試験により定量的データを得ることが可能です。

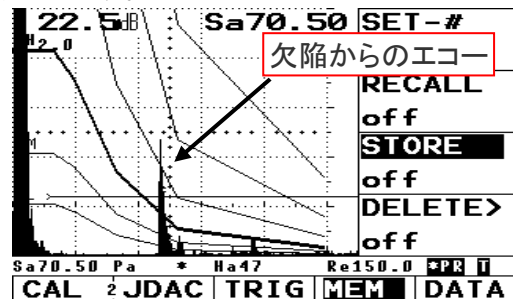
点 検 対 象	点 検 方 法
溶接部内部欠陥	超音波探傷試験(UT)
亀裂の長さ・形状	磁気探傷試験(MT)・浸透探傷試験(PT)・渦電流探傷試験(ET)
コンクリートの配筋状態	RCLレーダ探査・電磁誘導法
コンクリートの内部状態	RCLレーダ探査・放射線透過試験(DRT)

### ・超音波探傷試験(溶接部内部欠陥探傷)

送信した超音波が溶接部内面の欠陥から反射し、その反射波を受信することにより、欠陥の位置、深さを測定します。また鋼材の内部亀裂やキズの測定にも適用できます。



(超音波探傷試験 状況写真)



(超音波探傷試験 測定データ)

### ・磁気探傷試験

磁化させた鋼材に磁粉を散布すると、表面や表面付近の亀裂に磁粉が吸引されて、欠陥磁粉模様が現れることを利用し、亀裂・表層欠陥等の検出を行います。



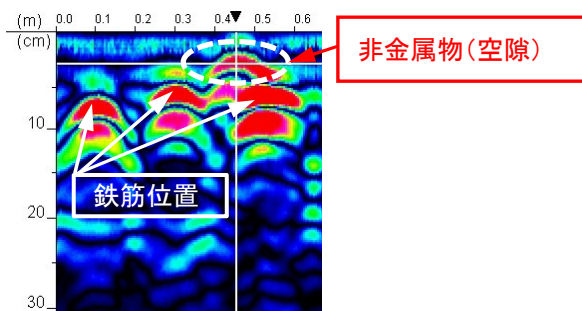
(磁気探傷試験 状況写真)



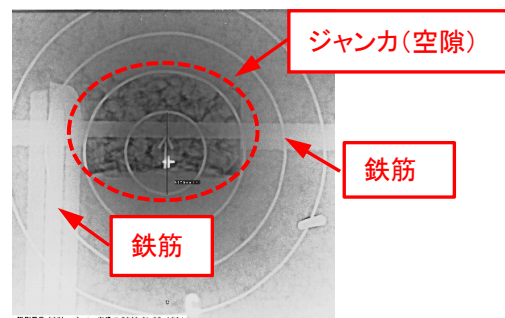
(きず磁粉模様)

### ・コンクリート内部調査

コンクリートの配筋状況はRCLレーダにより、配筋ピッチ・配筋深度の確認を行うことができます。また放射線透過試験(DRT)によるコンクリート内部の可視化が可能です。



(RCLレーダ探査データ)



(DRT画像データ)